

第1章 作業事故実態及び要因分析調査 I 調査手法

作業事故実態及び要因調査 概要

- 我が国の農業、林業、木材産業、漁業、食品産業の5分野における作業事故について、農林水産省提供資料等をもとに、類型化・分析の上、対策を検討する。（➡「II 分野別分析」）
- 各分野の調査対象データの比較も踏まえ、効果的な事故情報収集分析方法等について検討する。（➡「III データ収集方法に関する検討」）

各分野の提供資料と調査の流れ

	出典	対象年	件数
農業	農水省調べ （農作業事故報告書）	平成29年- 令和元年	死亡 343件 傷病 184件 計 527件
林業	林業労働災害発生報告書（林 野庁）	平成29年- 令和元年	死亡 128件
	国有林請負事業災害報告書	令和元年度	死亡・傷害 計111件
木材産業	厚労省死傷病等報告 原本写し	（調整中）	死亡 10件 傷害 1,151件 うち100件程度抽出
漁業	国交省運輸安全委員会 （船舶事故報告書）	平成27年- 令和元年	死亡 77件 傷病 287件 計 364件
食品産業	厚労省死傷病等報告 原本写し	（調整中）	死亡 16件 傷害 7,953件 うち100件程度抽出

II 分野別分析

各分野の調査対象データについて分類情報の整理作業を実施し（次頁参照）全体的な発生状況の把握及び典型事例の類型化を行う。また、分析結果をもとに事故発生を防ぐための対策を検討する。

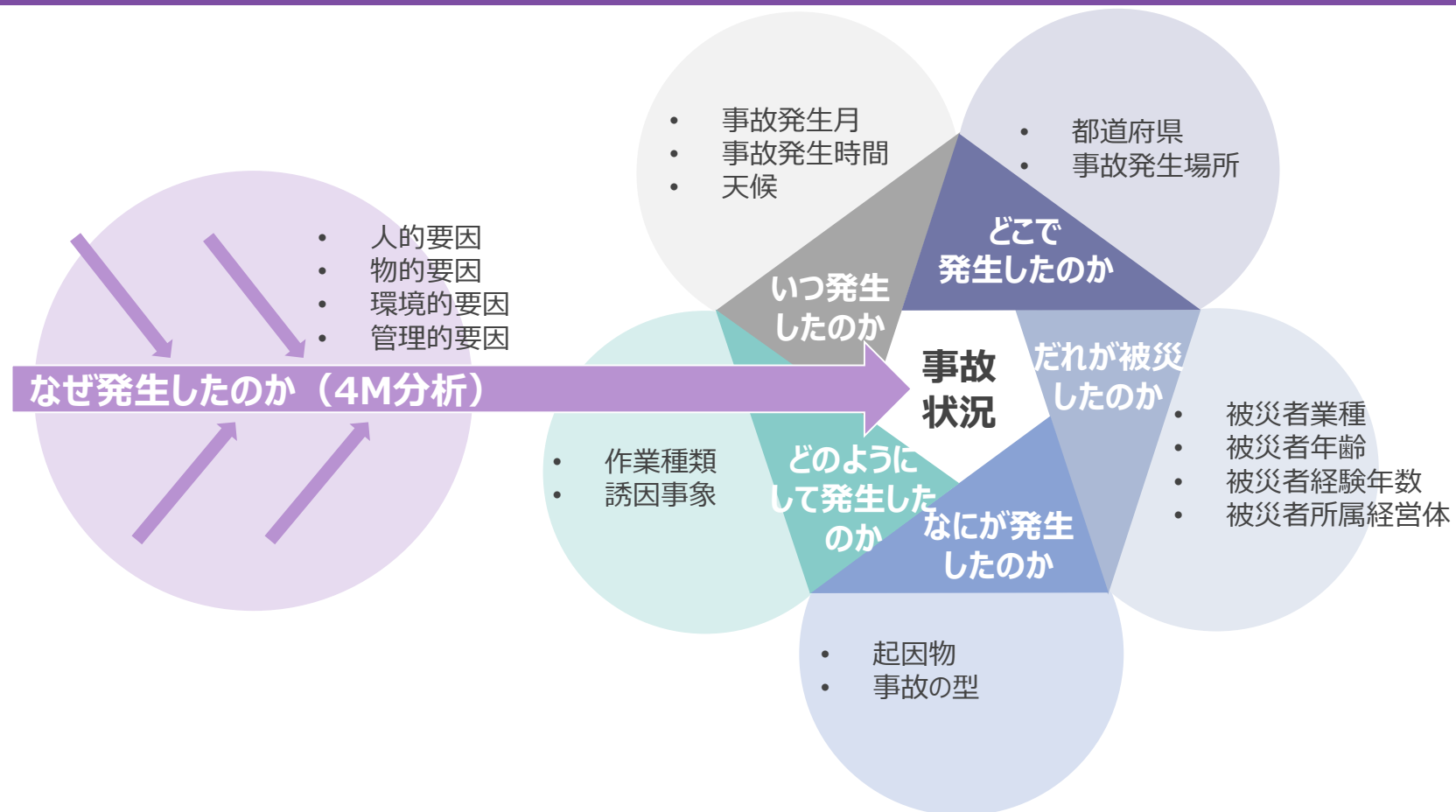
III データ収集方法に関する検討

事故情報の収集・分析体制について、「①事故発生の認知」「②概要情報の把握」「③事故情報の共有」「④専門家による原因究明」の各ステップについて比較検討

「Ⅱ 分野別分析」におけるデータ分類情報

- 分析手法は、既存の与えられたデータのなかから、農業、林業、木材産業、漁業、食品産業の5分野ごとに、分析対象とする作業事故データの中から事故発生状況を示す分類情報を整理する。
- テキストデータに埋もれている分類情報についても要素を抽出する。

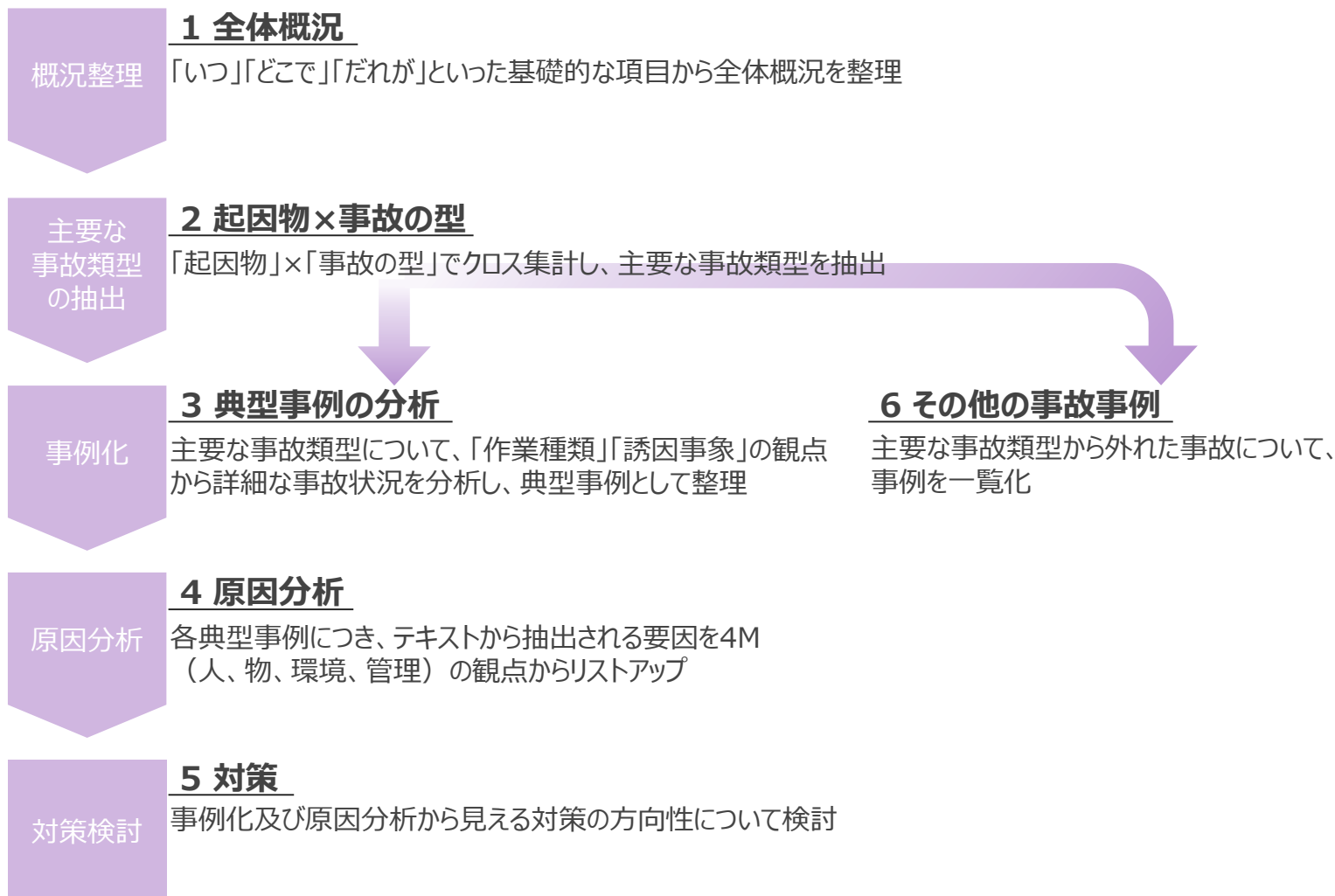
分析対象データから抽出される分類情報



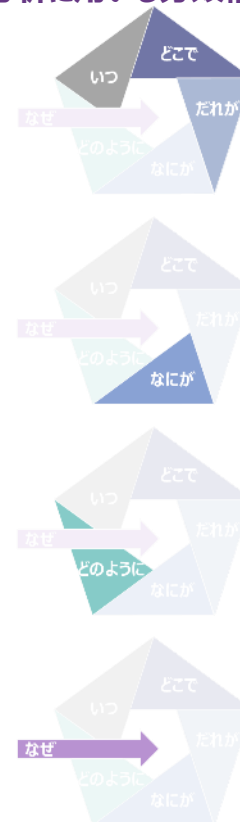
「Ⅱ 分野別分析」における分析手順

■ 「Ⅱ 分野別分析」では、調査対象データの分類情報をもとに下記の手順で分析を進める。

分析手順と「Ⅱ 分野別分析」の各章との対応



分析に用いる分類情報

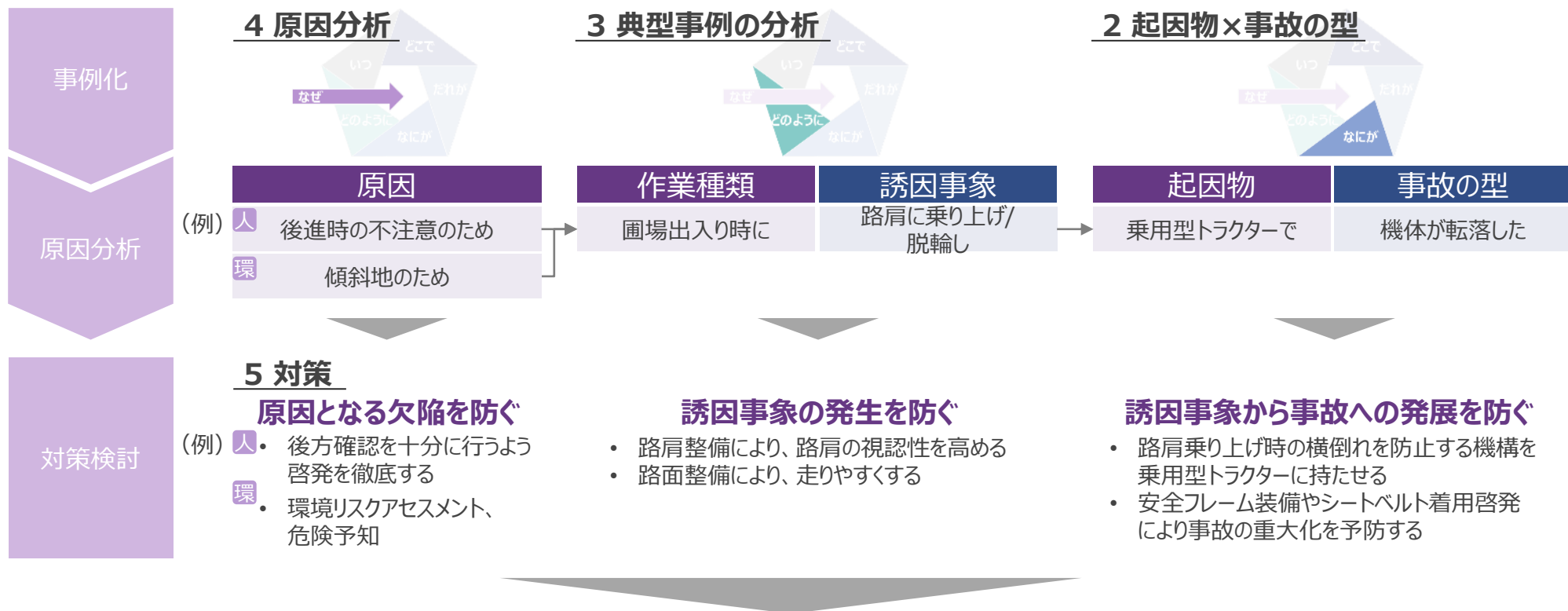


典型事例の抽出、原因分析及び対策検討の考え方

- 「起因物」×「事故の型」で類型化される事故に対し、「作業種類」×「誘因事象¹」による分類を行い典型事例として整理する。更にその原因を4つの観点（人、物、環境、管理）から分析する。
- 事例化及び原因分析により事故発生に至る経緯を捉えた上で、対策検討を行う。

¹ 事故発生のきっかけとなる事象を類型化したもの

事例化と原因分析による対策検討の考え方



事故発生に至る経緯を整理することで、各段階において事故発生を防止するための対策及び実現可能性を検討する